

令和3年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学			
科目名 (サブタイトル)	[26] バイオテクノロジーへの招待 (動物・植物・微生物・食品醸造の科学)		科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生物資源科学部 応用生物科学科 准教授 村口 元 他 (計6名)		
授業概要	高校で学ぶ化学や生物の知識がどのように活用されて私たちの生活に役立つものになって行くのかを、伝統的な手法から最新のバイオテクノロジーまで幅広い研究方法を交えながら、分かりやすく専門家が解説します。					
授業方法 と留意点	授業はオムニバス形式で行います。					
<b>授 業 計 画</b>						
<b>【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります</b>						
<b>&lt;7月10日(土) 13:30~15:00&gt; 准教授 村口 元</b>						
第1講: 「 <b>応用生物科学科の研究紹介とゲノム科学</b> 」 本学科の構成と、学科で行われている研究を紹介します(第2講以降の研究紹介は除く)。また、ゲノム科学について解説します。						
<b>&lt;7月10日(土) 15:15~16:45&gt; 准教授 尾崎 紀昭</b>						
第2講: 「 <b>バイオイメージング: ミクロとナノの世界を観る</b> 」 生物や生体分子を直接観察できる最新の顕微鏡技術について紹介します。						
<b>&lt;7月24日(土) 13:30~15:00&gt; 准教授 張 函</b>						
第3講: 「 <b>食品の品質と美味しさの科学</b> 」 食品の品質評価の重要性および食べ物の美味しさに関わる要因について紹介します。						
<b>&lt;7月24日(土) 15:15~16:45&gt; 助教 岩下 淳</b>						
第4講: 「 <b>生物の発生と疾病に関わる遺伝子について</b> 」 脊椎動物の初期発生や再生、疾病に関わる遺伝子の情報伝達について紹介します。						
<b>&lt;7月31日(土) 13:30~15:00&gt; 助教 牟田口 祐太</b>						
第5講: 「 <b>D-アミノ酸のバイオケミストリー</b> 」 医療・美容・食品業界で近年注目されているD-アミノ酸。その基本と最新研究を紹介します。						
<b>&lt;7月31日(土) 15:15~16:45&gt; 助教 矢野 裕子</b>						
第6講: 「 <b>食感を科学するレオロジーの世界</b> 」 マヨネーズは固体?液体?身近な食品の不思議をレオロジーという学問に絡めて紹介します。						
その他						
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配付します。					
参考文献	授業の中で紹介します。					
関連科目	生物、化学					
開講日時	7/10(土)		7/24(土)		7/31(土)	
	13:30~15:00	15:15~16:45	13:30~15:00	15:15~16:45	13:30~15:00	15:15~16:45
会場	カレッジプラザ					
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス 電話: 018-872-1527 (平日9:00~17:00) E-mail: ogiwaram@akita-pu.ac.jp					